

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援Tendresse		
○保護者評価実施期間	令和7年9月24日		～ 令和7年9月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23 (児童数 : 25)	(回答者数) 15 (児童数 : 17)
○従業者評価実施期間	令和7年9月24日		～ 令和7年9月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年10月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職(保育士)による手厚く専門的な支援	基本人員に加えて2～3名の職員を配置し、手厚くきめ細かな支援の提供に努めています。また、支援に関わる職員は管理者を含め、全員が保育士資格を有する専門職で構成し、専門的な支援の充実を図っています。さらに、月1回、外部の言語聴覚士によるコンサルテーションや構音訓練などのリハビリを実施し、支援の質の向上に努めています。	他の専門職(作業療法士、理学療法士、心理職等)から専門的なアドバイスが受けられるような環境づくりを図ってまいります。
2	3時間以上にわたる充実した総合的な支援の提供	児童発達支援に特化することで、午後から未就学児のみで長時間にわたる支援の提供に努めています。集団プログラムでは他者との関わりを含めた活動、個別プログラムでは個々の発達に合わせた活動、個別活動(自由遊び)の時間には専門的支援の実施、また1日を通してSST・ADL・IADL向上を意識した支援を行っています。	職員の支援技術の向上に努めることで、提供するプログラムの質の向上へと繋げていきたいです。また、支援プログラムが目的とずれていないか検証しながら、子ども達にとって適切なプログラムの設定に努めてまいります。
3	保護者同士のつながりを築くサポート	保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催しています。悩みを共感しあえる仲間を得ることは生涯の宝と考え、保護者同士の友好関係を築くサポートに努めています。	保護者がリラックスして話しやすい環境設定の工夫に努めてまいります。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の外部研修等の参加困難	午後から長時間にわたる支援提供時間を確保するために、利用児不在時間が午前中に2時間(休憩除く)しかないため、外部研修等の参加が難しい状況です。	外部講師を招くなどして、引き続き事業所の状況に応じた時間帯で研修やコンサルテーションを受けることを検討していきます。また、事業所内研修についても、月1回以上の開催を継続してまいります。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援Tendresse

公表日 令和7年10月23日

利用児童数 25名

回収数 15 (児童数: 17名)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				大きい子には少しもの足りないかもしれません。	指導訓練室は子ども達が伸び伸びと活動ができるように、定められた設備基準33㎡に対して54.9㎡と広く確保させていただいております。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	2			言語療法士、作業療法士の方も希望。	法人全体でST・OTの採用を検討しており、良い人材が見つかるまでは外部コンサルテーション等を通じて支援の強化を継続していきます。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15						
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15						
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				専門的なアドバイスに助けられています。	今後も引き続き専門的なアドバイスをご提供できるように努めさせていただきます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15						
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15						
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15						
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1			1	毎回の活動プログラムも工夫されておりわかりやすいです。	満遍なく身体の発達を促せるようにサーキット運動は毎週遊具を変更しております。また、個別プログラムは子ども達が飽きることなく楽しみながら取り組めるように、且つスキルの定着を促せるように、毎週1プログラムを変更するようにしてご提供させていただいております。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	1		4		全員が就園先で他の子ども達と交流する機会があるため、事業所内での支援を優先し、現在保育所等との交流や、その他地域で他の子ども達と活動する機会を設けておりません。今後、ニーズがあれば検討させていただきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15						
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	1			1	仕事のためなかなか参加できません。	今年度は、9月から毎月外部の言語聴覚士による保護者座談会を実施させていただいております。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15						
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15						

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	12	2	1	親はあるが、兄弟向けイベントはない。 仕事のためなかなか参加できません。	保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催させていただいております。また、夏祭りイベント、クリスマスイベントはきょうだいにでもご参加いただいております。	
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	2			保護者様が気軽に相談できる場となることを目的として支援提供後は保護者様に事業所にお迎えにお越しいただいておりますので、今後も気軽にご相談いただけますと幸いです。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15			迅速にメール返信をしてくれています。	今後も、迅速かつ丁寧な返信・対応を心がけ、保護者との円滑な情報共有に努めさせていただきます。	
	21	定期的な通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			1		SNS等での活動内容の発信頻度が減っているため、今後は発信の機会を増やせるよう努めさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1	緊急時感染はわかりません。	感染症・災害時のBCPIは策定済みですが、保護者への周知をより徹底していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		怪我等があった場合は、お迎え時の申し送りでも速やかに状況をお伝えしています。今後も、事故等の発生防止に最善を尽くすとともに、万が一発生した際には迅速かつ丁寧にご報告いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				お友だちや先生方が大好きでいつも楽しそうに話してくれます。	今後も引き続き、お子様との愛着関係をしっかりと築くことで安心感を抱いていたできるように努めさせていただきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			1		全てのお子様に通所を楽しみにしていただけることを目標に精進いたします。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				いつもありがとうございます！！！！いつも気にかけてくださり子供や親を大切にくださっています。本当にありがたい存在です。子供も喜んで通所させてもらってます。感謝しています。	皆様からの嬉しいご意見を励みにして、今後も引き続き支援にご満足いただけるように尽力させていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援Tendresse					公表日	令和7年10月23日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		指導訓練室は子どもが伸び伸びと活動ができるように定められた設備基準33㎡に対して54.9㎡と広く確保しています。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		基本人員に加えて2～3名職員を配置し、発達支援に関わる職員は管理者を含めて全員が専門職(保育士)で構成することで、手厚くきめ細かな専門的な支援の提供に努めています。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		活動の見通しが立てられるように、ホワイトボードに1日の流れやプログラム内容の絵カードを掲示する等、視覚支援を実施しています。また、なるべく掲示物などを減らし、視覚刺激を少なくする等の配慮をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		子ども達の活動が妨げられることなく伸び伸びと活動できるように、また清掃が行き届きやすいようにと配慮して家具等を配置しています。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		クールダウンが必要な子のためのスペースを用意し、状況に応じて活用しています。また、静かな環境で専門的支援の実施が必要な場合は、事務室や相談室などの個室を活用して提供しています。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		事業所の門戸設置など、保護者からの評価表の意向を踏まえて業務改善を行っています。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		週1回定期的にミーティングを行い、職員間で意見等の把握に努めています。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		今後において、外部評価の実施を検討します。		
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		月1回以上のスキルアップ研修を実施し、職員の支援技術の向上に努めています。また、あい・さかい・サポーター養成研修の受講や、PECS等の専門的な研修を受講する機会も設けています。				
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		弊社ホームページにて公表しております。また、保護者には契約時に配布及びご説明をしております。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		支援終了後は保護者にお迎えに来ていただいているので、都度、保護者からのニーズの把握に努めております。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		全員でアセスメントを行い、会議でそれぞれの見解を出し合い、子どもにとっての最善を熟考し、必要な目標を検討したうえで、個別支援計画を作成しています。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		フォーマルなアセスメントは乳幼児発達スケールを使用しています。また、外部で受けられた発達検査の結果も随時確認させていただき、支援内容等に反映させていただいております。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5					
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	チーム会議を開催し、活動プログラムの立案を行っています。				

適切な支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		満遍なく身体の発達を促せるようにサーキット運動は毎週遊具を変更しています。また、個別プログラムは子ども達が飽きずに取り組めるように、目つスキルの定着を促せるように、毎週1プログラムずつ変更しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		支援終了時間と職員の退勤時間が同時刻であるため、当日ではなく翌日に振り返り等を行って共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児童発達支援管理責任者と支援員の2名体制で参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	4		スーパーバイズや助言を受けたいと考えているため、連携を図っていきたく考えています。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現状は利用児の通園先との連携のみに留まっているため、今後において弊所に出来る活動を模索していきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		支援提供終了後は保護者に事業所にお迎えにお越しいただき、直接口頭でフィードバック等を行うことで、お子様の共通理解に努めています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		今年度は、9月から毎月外部の言語聴覚士による保護者座談会を実施しております。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		保護者交流会を開催することを主な目的として、月1回土曜イベントを開催しています。また、夏祭りイベントやクリスマスイベントには、きょうだいにもご参加いただいています。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5		事業所単独での行事は開催していないが、他事業所主催の行事に実行委員として参画することで、地域に開かれた事業運営を図ることに努めています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		利用児との避難訓練は年間4回(火災2回、地震1回、不審者1回)開催しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		年長的に全員が予測できない突発的な行動を起こす可能性があるため、個別支援計画に行動を抑止する旨を記載し、保護者にご説明し、同意いただいています。過去に身体拘束を行った事例はありません。	